



開物成務

郡山市立開成小学校
学校便り No.53
令和元年12月13日
文責：校長 伊藤 孝行

教育相談への来校に感謝申し上げます。

12月2日(月)から始まりました教育相談も12日(木)で終了しました。

お子さんの2学期の学習や生活の様子は、担任から伝えさせていただきました。

また、先にもお伝えしましたように、2学期の通知票の総合所見は、今回の教育相談に代えさせていただきます。

今後とも、お子さんの学習や生活等に関する点で心配なことがありましたら、担任及び学校に速やかにご連絡下さるようお願いいたします。学校カウンセラーの倉塚も月曜日を中心に相談を受けておりますので、こちらでもご利用くださるようお願いいたします。

eスポーツについて進路相談されて・・・



中学生の子どもをもつ教え子から、子どもの進路について相談を受けました。その内容は、子どもがゲーム好きで、中3なのに受験勉強をそっこのけでのめり込んでいる。

受験勉強をするように話をすると、その子どもは、

- ①「eスポーツ」のプロを目指している。
- ②「eスポーツ」は、オリンピック種目になるので、オリンピックにも出たい。
- ③受験勉強は「eスポーツ」の役に立たない。と言って、親の話を聞かないそうです。

事実、「eスポーツ」は、アメリカではプロ化が進み、大きな大会では多額の賞金が出され、17歳の高校生が3億円を獲得したというニュースもありました。また、アジアオリンピックでも、2022年の中国・杭州大会からメダル種目として正式認定され、東京オリンピックの次のオリンピックでは、種目になるとも言われています。

さらに、その子どもは、サッカーでプロや

オリンピックを目指すのと「eスポーツ」でプロやオリンピックを目指すのでは何が違うのかとも迫ってきたそうです。

教え子は、困って私に相談を持ち掛けてきたのでした。

以前にもこの「開物成務」で述べたように、今の子どもの65%は、現在はない職業に就くと言われていています。まさにプロのeスポーツ選手はこれに当てはまります。

子どもの夢を実現させてやりたいというのは、多くの親の思いだと思います。しかし、全く聞いたことも見たこともない職業に子どもが就きたいというケースでは、戸惑ってしまいます。今後、同様のケースは増えてきます。子どもも悩みますが、おとなも悩む難しい問題です。そこをどう乗り越えていくか、考えていく必要があります。

相馬市立磯部小学校を訪れて

12月6日(金)相馬市立磯部小学校の校内研修に招かれ出かけました。

磯部小学校は、相馬市の中で一番海に近い学校です。震災時は津波により200名の方が学区内で亡くなられたそうです。子どもの中には、津波に飲み込まれても奇跡的に助け出されたという子もいました。



地形が変わったり、住宅地だった場所に無数のソーラーパネルが広がったり、雰囲気が一変した磯部地区でした。しかし、復興に向け、地域を挙げて頑張っている様子も随所でみることができました。知る、見る、関心をもつことで、被災した地域を少しでも応援できないかと思いを強くしました。